

2026 年 7 月 2 日

「あきぎんNEXTファンド」による支援決定 ～KAERU 株式会社への支援について～

株式会社秋田銀行（頭取 芦田 晃輔）は、投資専門子会社である株式会社あきぎんキャピタルパートナーズ（代表取締役 石川 聡）が運営するあきぎんNEXT投資事業有限責任組合（通称：あきぎんNEXTファンド）を通じて、KAERU 株式会社（代表取締役 岡田 知拓）に対して投資実行しましたのでお知らせいたします。本ファンドによる投資実行は、本件が第 18 号となります。

KAERU 株式会社は、「誰もが買いものを楽しみ続けられる世の中にする」をビジョンに掲げ、介護・障害福祉事業者向けの現金管理・決済業務支援サービス「KAERU」を展開するスタートアップです。

同社は秋田県内での事業展開に向けた準備を進めています。今後、県内企業へのソリューション提供や連携を通じた地域課題の解決への貢献が期待されることから、投資を決定いたしました。

当行グループでは、本ファンドを通じて成長資金を供給し、地域課題の解決と県内経済の持続可能な発展に貢献してまいります。

記

1 KAERU 株式会社について

KAERU 株式会社は、高齢者や認知症の方、障害のある方など、金銭管理にサポートが必要な方の「買いものの楽しみ」と、その家族や福祉施設職員の「金銭管理の負担軽減」を両立するキャッシュレスサービスを提供する企業です。

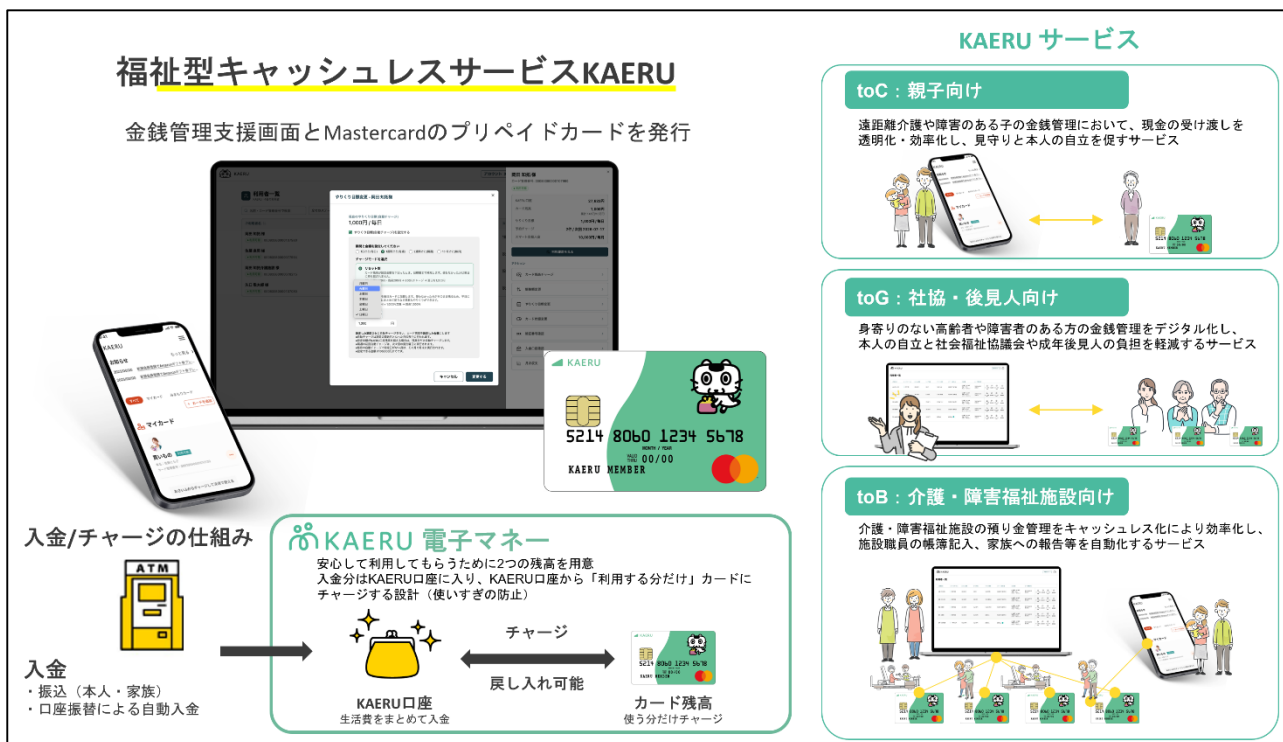
Mastercard ブランドのプリペイドカード「KAERU」と金銭管理支援画面を一体で提供しており、離れて暮らす家族の見守りや、成年後見人による権利擁護支援、福祉施設での預り金管理など、幅広い場面で利用されています。

最大の特徴は、支援を必要とする方の家族や施設職員などの「第三者が利用・支援できること」です。一般的な金融サービスでは本人以外の利用が制限されますが、同社のサービスは第三者によるサポートを前提に設計されています。支払い履歴や残高をリアルタイムに共有・管理できるため、ご本人が安全に買い物できるだけでなく、支援者による透明性の高い「買い物代行」も安心して行える環境を実現しています。

こうした利便性と安心感が高く評価され、現金管理の負担軽減を目的として福祉施設を中心に導入が拡大しています。従来は、施設職員が金融機関で現金を引き出し、利用者に手渡しして帳簿に記録するなど膨大な事務負担が発生していました。同社は、このような手続きをキャッシュレス化することで、現金管理の負担軽減と現金の紛失リスクを抑制しながら、職員が「ケア業務」に注力できる環境づくりに貢献しています。

秋田県においては、高齢化に伴う福祉ニーズの拡大と少子化による人手不足が進んでおり、福祉サービスの持続性を高めるためには業務効率化が必要となります。この点で、同社のサービスは介護・障害福祉現場における課題解決の可能性を有しています。

2 サービスの概要



3 出資先の概要

投資先名	KAERU 株式会社
代 表 者	代表取締役 岡田 知拓
住 所	東京都中央区日本橋兜町 9 番 5 号 兜町平和ダイヤビル THE HUB 日本橋兜町 823 号室
事業内容	福祉型キャッシュレスサービス「KAERU」の企画・運営

4 出資内容

投資実行日	2026 年 7 月 1 5 日
投 資 形 態	第三者割当による株式の引受け
投 資 金 額	非公表

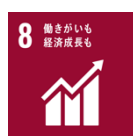
5 本ファンドの概要

名 称	あきぎんNEXT投資事業有限責任組合（通称 あきぎんNEXTファンド）
ファンド総額	1 0 億円
出 資 者	有限責任組合員（LP） 株式会社秋田銀行 無限責任組合員（GP） 株式会社あきぎんキャピタルパートナーズ
存続期間	約 1 0 年間
設 立 日	2023 年 8 月 1 日（火）
投資対象	○ 創業・起業期および創業・起業 10 年未満の企業、第二創業・新事業を展開する企業 ○ 地域に欠かせない技術・顧客基盤を有し、事業承継の課題を抱えている企業 ○ 地域活性化に資する事業を行っている企業

6 投資実行先一覧

	企業名	事業内容
第1号	C r a n e b i o株式会社	フェムテック製品の開発・製造
第2号	発酵パーク株式会社	まちづくりに関するサービス提供、宿泊業
第3号	双日由利農人株式会社	タマネギ生産にかかる営農サポート
第4号	事業承継案件（非公表）	
第5号	TOYOSHIMA FARM株式会社	ブドウ栽培、ワイン醸造
第6号	株式会社このほし	森林資源活用コンサルティング
第7号	新製品開発案件（非公表）	
第8号	株式会社エナーバンク	脱炭素化支援サービス
第9号	株式会社男鹿なまはげ魚工房	陸上養殖事業
第10号	事業承継案件（非公表）	
第11号	事業承継案件（非公表）	
第12号	イーストブリッジリニューアブル株式会社	洋上風力発電事業向けコンサルティング・特殊工事船の用船事業
第13号	株式会社リピドームラボ	脂質の分析・解析の受託サービス、脂質の研究開発支援
第14号	株式会社TOMUSHI	カブトムシによる地域内の資源循環ビジネス
第15号	稲とアガベ株式会社	クラフトサケ製造・販売、まちづくり事業
第16号	株式会社サイキンソー	腸内フローラ検査キットの販売・解析および検査データの利活用
第17号	起業・創業案件（今後、公表予定）	

（以 上）



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標であり、2030年までに解決すべき世界的優先課題 17目標と目標を達成するための169のターゲットが示されています。